第4回SG杯八戸市学童軟式野球大会開会式について

R6.7.14 八戸市野球協会理事長

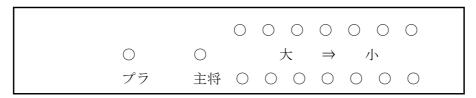
- **1 日 時** 令和 7 年 10 月 12 (日) 8 時~8 時 30 分 7 時 40 分三塁側入口付近集合
- 2 場 所 長根公園野球場
- 3 運 営
 - (1) 主催 SGグループ
 - (2) 主 管 八戸市野球協会
 - (3) 後援 八戸市・八戸市教育委員会・八戸城北ライオンズクラブ

4 次 第

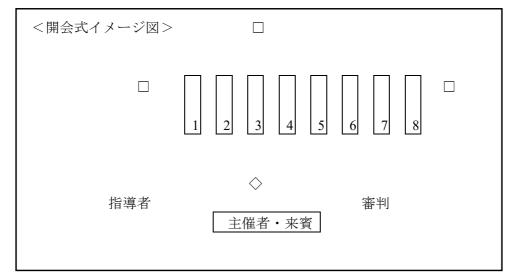
- (1) 選手入場 (2) 開会宣言 (3) 大会長あいさつ(SGグループ代表)
- (4) 来賓挨拶(八戸市長) (5) 選手宣誓(チーム番号1番主将)
- (6) 競技上の注意(審判長) (7) 閉会宣言 (8) 選手退場

5 連絡事項

- (1) 各チームはチーム名が入ったプラカードを持参すること。(学童野球用プラカードに紙を 貼って作成)
- (2) 開会式にはユニホームを着用する。アップシューズを履いて参加。(スパイクは×)
- (3) 各チーム大きい順2列で行進する。



- (4) 選手は、センターの芝付近から、マウンドまで行進する。
- (5) 行進曲がかかったら笛の合図でその場足踏みを行い、次の笛で前進を開始する。投手板付近の目印の所にプラカードが達したら、その場足踏みを行い、笛の合図で「1・2」で足踏みを止める。
- (6) 監督及びコーチは3塁側コーチャーズボックスを基準にして1列で整列をする。アップジューズで参加する。
- (7) 選手宣誓は「チーム番号1番の代表選手」が行う。



6 その他

- (1) 第1試合開始前に市長(来賓)による始球式を行う予定。
- (2) 打順表は学童野球で使用しているものを使用する。
- (3) 補助員集合 6時30分

第4回 SG 杯 八 戸 市 学 童 軟 式 野 球 大 会 申 し 合 わ せ 事 項

1 試合について

- (1) 全試合6回戦とする。
- (2) 試合時間は1時間30分を超えたら新しいイニングに入らないこととする。
- (3) 3回終了までにメンバー交換を行う。打順表は指定の用紙で7部持参する。また、<u>打</u> 順表の女子選手の背番号を丸で囲むこととする。登録メンバー全員を打順表に記入。
- (4) 1人の投手の1日あたり投球数を70球以内とする投球制限を設ける。
- (5) 6回及び1時間30分を終了し同点の場合は、次の回から無死1・2塁の特別延長戦を行う。
 - ① 特別延長戦で勝敗が決しない場合は再度行い勝敗を決する。
 - ② 2回の特別延長戦で勝敗が決しない場合は、抽選により勝敗を決する。その方法は 試合終了時の選手によるくじ引きとする。
- (6) コールドゲームは、なしとする。
- (7) 抗議権を有する者は、監督か当該プレーヤーであり、監督に限りグランドに出て指示できる。
- (8) ベンチに入ることができる人員は、ユニフォームを着用した監督 30番・コーチ 29番・28番および選手 25名以内と、ユニフォームを着用しないチーム責任者、マネージャースコアラー、トレーナー(有資格者)各1名と、給水係保護者2名とする。
- (9) ユニフォームとスパイクを着用しない監督・コーチはベンチ及びグランドに入ること はできない。
- (10) 試合開始予定時刻は、あくまでも予定であり、第2試合目以降は予定時刻の1時間前までには集合していること。
- (11) シートノックは行わない。
- (12) 投手は変化球を投げることを禁止する。投球が審判員によって変化球と判断された場合は注意する。注意したにもかかわらず、同一投手が再び変化球を投げた時は、交代させ大会期間中は投手として出場させない。
- (13) DH制を活用してもよい。

2 用具について

- (1) 金属製スパイクの使用を禁止する。
- (2) 捕手は公認マスクで SG マークがついたマスクを着用することが望ましい。
- (3) バットは JSBB のマークがついているものを使用すること。
- (4) 両耳付きのヘルメットを使用すること。
- (5) 捕手用ヘルメットはマスクと一体型の物の使用は認めない。
- (6) 捕手はプロテクター・レガース及びファールカップを着用のこと。
- (7) ロージンは本部が準備したものを使用する。

3 その他

- (1) 球場内にはユニフォームを着た者しか入ることはできない。
- (2) 球場内の打撃練習は、トスバッティングしか行うことができない。
- (3) 大会期間中に**試合があるチームは1名の運営補助員(1日従事)**を協力をお願いします。
- (4) 自チームの試合時には1塁側チームからボール係2名とライト側ファールボール係1 名計3名、3塁側チームから投球数係2名とレフト側ファールボール係り1名計3名を 出すこと。
- (5) 指導者はベンチ入りした選手を**できるだけ多く出場させる**ように努めること。